

冬休み号

令和3年を振り返って

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

今日で2学期が終わり、25日から冬休みに入ります。3学期の始業式は1月11日なのでいつもよりも少し長い休業期間となります。

令和3年を振り返ってみると、賛否が分かれる中での東京オリンピック・パラリンピックの開催や、感染拡大による緊急事態宣言の発令など、今年も新型コロナに翻弄された1年間でした。後半少し状況が落ち着いてきたかと思っていたところに、また新たな変異種の確認。感染者数がじわじわと増えているのが不気味です。社会全体がコロナ慣れしているとの指摘がありますが、まだまだ油断できない状況は続きます。

学校は、感染拡大防止に神経を尖らせながらも、学校だより12月号でもお知らせした通り、内容や形式を工夫しながら、できる範囲で行事を続けました。12月10日、11日は5年生が愛川ふれあいの村でキャンプを行いました。7月に予定していましたが延期となり、施設の空き状況で12月の実施となりました。当日朝、道路の事故渋滞によりバスの到着が遅れ、1時間近く遅い出発となりました。それでも、予定していた活動は大方実施できました。後で引率職員が撮った写真を見ましたが、間伐体験はなかなかハードだったようです。写真には斜面を登るヘルメット姿の子どもたちの様子が映っていましたが、傾斜がかなり急なので驚きました。学校の冬のキャンプは職員もあまり経験がありません。感染対策、防寒対策と、不安でしたが実施できて良かったと思っています。学校生活ではできない体験をすることの大切さを実感しました。



12月に入ってから、体育振興会の方々による校庭の側溝掃除や、「JCOM 株式会社 湘南・神奈川技術センター」の方々の銀杏の葉の掃除など、地域の方からたくさんのお力添えをいただきました。子どもたちの毎日の下校を見守ってくださる「おかえりなさい運動の会」をはじめとする地域の皆さま、そして本校の教育活動にご理解とご協力いただいております保護者の皆さまにあらためて感謝申し上げます。

「今年もありがとうございました」

来年の干支は「壬寅(みずのえとら)」。「寅」の字は弓矢を両手で引き絞る様子を表す象形文字で、矢が放たれる準備段階を表します。

矢を遠く高く飛ばすためには、しっかり引き絞ることが大切です。来年も、できることを着実に実行し、より高くまで飛べる力を蓄えていきたいと考えています。

「来年もよろしく願いいたします」

